

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 安曇野神竹灯 |
| 事業主体 (連絡先) | 安曇野で暮らすように泊まる実行委員会 (安曇野市商工会穂高支所内 0263-82-5820) |
| 事業区分 | 教育及び文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 2,910,113 円 (うち支援金 : 1,563,000 円) |

事業内容

「安曇野神竹灯」平成27年12月初旬 4日(金)～6日(日)の3日間の夕刻16:30頃から安曇野市穂高 穂高神社とその周辺に孟宗竹の竹灯籠約8,000本を配置し点灯。

竹灯籠の配置及び点灯には見物に訪れた人々、地域住民の協力を得ながらの参加型イベント。(別紙1～3参照)

「安曇野神竹灯」終了後、年末年始の期間 参加施設での「神竹灯」を実施し、訪問客・地域住民にイベントの成り立ち・意義等の周知を図り、「安曇野神竹灯」へのかかわりを通じての一体感の形成の促進を図った。

新年の恒例行事「穂高あめ市」旧保高宿の賑わいを取り戻そうと商工会や既存商店街活性化プロジェクト、安曇野百選プロジェクト等が穂高地区活性化プロジェクトを組織し、市民主体の手づくりイベントでも穂高神社を中心とした地域で「安曇野神竹灯」を実施し、住民の一体感の形成に寄与。



【活動写真】

【目標・ねらい】

- ①地域住民の協働意識の向上。
- ②農産物の地産地消及び竹田市との地域間交流による特産品販売の促進への基礎作り。
- ③障がい者の就労機会の拡充。
- ④イベント周知、広報手段の多様化。
- ⑤地域活性化コンテンツの創出。
- ⑥入り込み客の増加、対2013年比10%増。

事業効果

- ・入り込み客の増加等による地域経済への貢献。(対2013年比10%増)
- ・農作物の地産地消の促進。
- ・障がい者の就労機会の創出。(社会就労センターへの竹組作業等の委託)
- ・プロサッカーリーグ松本山雅サポーター・後援会安曇野支部との連携。

※自己評価 【 A 】

【理由】
事業の認知度アップ、協働の広がり、来訪者の増加、地域間交流の基礎づくりステップ、社会就労センターの通所者のやりがいの創出など概ね予想通り。

今後の取り組み

- ・竹灯籠を約10,000本を目標に、みどころポイントを増やし、ツアーバスなどの入り込み増加への対策強化を図る。
- ・住民、グループ、団体などへの竹灯籠設置デザイン募集。
- ・竹の消し炭を使った土壌改良の推進と農家との連携の強化、神竹灯ブランド野菜の創世。
- ・社会就労センターとの連携強化。
- ・神竹灯ウェディングの開催。
- ・畜産の臭気問題の解決に向けて竹粉の乳酸発酵を利用した対策を試みる。
- ・新年度の安曇野神竹灯実行委員会設立。